



加々見保樹 議員

「無料塾」成果は上がるか

最初の年、長い目で

温かく見守ってほしい

質問：無料塾について、今現在わかっている内容は。

教育長：学力向上を目的に、当面中学3年生を対象。講師はボランティア。夏休み、冬休み各7日間開催予定。

質問：講師の選考基準は。

教育長：使命感・情熱を持っている方、採用したが不適合と判明したら即やめてもらう。

質問：グループ分けをするのか。教育長：習熟度別に3段階位に分けたい。

質問：習熟度の資料は学校から提供してもらうのか、生徒の自己申告か。

教育長：中学校長と相談したい。デリケートな問題なので適切な方向で判断したい。

質問：学校の先生方の反応は。

教育長：学校には負担をかけない約束で後方支援することになっている。教育委員会が学力向上のため支援してくれることはありがたいこと。

質問：成果が上がらず不満が出たら。

教育長：一週間くらいでは成果が上がらないかもしれない。長い目で温かく見守ってほしい。毎回感想・意見を書いてもらい、その都度改善していく。

■中学生海外派遣事業について

質問：20年以上経過するが、節目の総括、有益性の検証を行っているか。

教育長：節目ごとの総括は行っていないが、英語力がついた等、校長からは有益であったと報告がある。

質問：実施要領には選考委員の面接が含まれているが実施されていない。定員オーバーなら抽選で決定とは。

教育長：最終的には抽選が一番公平ということだった。面接は確かにしていない。今後選考委員会に提案する。

■役員職員のメンタルヘルスについて

質問：職員数の削減が負担増になっていないか。超過勤務の実態は。

町長：業務を委託するなどして業務量は適正、長時間労働は一切ない。

総務課長：超過勤務は月平均5〜6時間。一番多い者で月25時間。サージ残業はない。



名取武一 議員

通学路の安全確保を

毎年PTA連合会で対策を実施

質問：通学路の安全確保をどう進めてきたか。

教育長：他市町村にない独自の取り組みとして、毎年5月に町PTA連合会で通学路危険個所の視察を行い、必要に応じて国・県・公安委員会、役場担当課に改善要望を出している。

質問：最近の交通事故例を契機に、新たに取り組んでいることは。

教育長：保護者からの通報、スクーリングの運転手の証言をもとに、見通しの確保対策を行っている。

保護者：スクールバス運転手には、安全運転に努めるよう注意を喚起するとともに、学校では児童生徒に交通法規を順守する指導を学級担任や部活動顧問などから呼び掛け、周知

徹底するようにしている。

また、安全教室を各学校で実施し、交通安全、不審者対応の指導をしている。登・下校時には、学校職員や地域ボランティアによる付き添い・見守りなどをお願いしている。

質問：通学路の安全を確実に確保する上で、車道と歩道の分離、間にガードレールの設置、歩道の拡幅など、用地買収も含めた長期計画を。

町長：国・県道に関するものが多く、引き続き要望を出していきたい。

■自然エネルギーの導入について

質問：自然エネルギー自給率100%をめざし、市内にプロジェクトチームの設置を。

町長：報道された県の工業団地のメガソーラーは9メガで、3000軒弱の家庭をカバーできる。他に土地開発公社の土地、その他箇所候補地があるので、町が使うエネルギーを太陽光で100%カバーできる。太陽エネルギーの町として売り出していきたいと思う。

さらに、バイオマスエネルギーとして薪ストーブ補助に加え、バイオマスボイラーの公共施設への設置も考えていく。

□その他の質問

*子ども子育て新システムについて